



「はじめての にほんご くらす 2023夏」

【概要】

開催日時：
令和5年
「はじめての にほんご
くらす 夏」全6回
全て 14:00~16:00
① 7月 1日 (土)
② 7月 8日 (土)
③ 7月 15日 (土)
④ 7月 22日 (土)
⑤ 7月 29日 (土)
⑥ 8月 5日 (土)

講師：
阿部 仁美 氏
(一社)北海道日本語セ
ンター理事、北海道大
学・札幌市立大学非常勤
講師 日本語ボランティ
アグループ「J. WORKS」
所属

大井裕子氏
(一社)北海道日本語セ
ンター理事、IAY日本語
教師養成講座講師、
日本語ボランティアグ
ループ「窓」所属

主催
(公財)札幌国際プラザ

令和5年7月1日～8月5日、「はじめての にほんご くらす 夏」全6回を開催しました。これは、日本語を話すことが出来ない外国人を対象とした基礎日本語教室です。

コロナ禍を経て、あらたに入国して来る外国人も増えてきました。このクラスの参加者の約8割が、日本に来て1年未満であり、全く日本語を学んだことのない人が多かったです。

クラスでは、日本語教師が基礎的な文法やフレーズを教えました。初回は挨拶と自己紹介で、名前と出身国が言えるようになりました。回を重ねる毎に数字や時間、日付を習ったり、基礎的な動詞や形容詞を使って毎日のスケジュールが言えるようになりました。

合計6回という短いコースでしたが、最後の2回は、実際に日本人と会話する機会がありました。今年の5月に実施した「日本語学習支援者になるための講座」を修了した にほんごサポーターと、それまでに習った表現やフレーズの実践練習をペアになってしました。また、最終回はお茶を飲みながら自由な会話を楽しむ時間も設けて、各自楽しい時間を過ごしていました。

参加した学習者へのアンケートでは、「新しい言葉や文をたくさん学べて楽しかった。」「学ぶ力がついた。日本語でコミュニケーションが取れるように、挨拶の仕方など教わるのができた。」などの声が寄せられました。クラスに参加することで、日本語を学ぶ以外にも、学習者同士で友達になる人もいました。普段は出会えない人との交流を楽しんでいたようです。

札幌国際プラザは、これからも、札幌市の多文化共生の推進に向けた活動を続けてまいります。



教師による授業の様子



サポーターとペアで会話練習する様子



最終回での自由会話の様子

参加人数	7月1日	7月9日	7月15日	7月22日	7月29日	8月5日
外国人学習者	12	12	9	6	6	9
日本人サポーター	—	—	—	—	6	6

(公財)札幌国際プラザ 多文化交流部
〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNNビル3階
TEL 011-211-2105 FAX 011-232-3833
多文化交流部ホームページ https://plaza-sapporo.or.jp/citizen_j/